



しやり通信



発行
しやり本部
編集 広報部

発行：NPO法人 しやり 連絡先：shari@j310jp.com

しやり講演会

2月28日 風の谷保育園にて

首都医校看護学部、心理学講師の松村香先生をおまねきしてハートフル講演会「みんなちがってみんないい」を開催しました。まず発達障害とはなにか、その分類や定義についての説明がありました。そして知能検査によって子供の特性や個性、社会生活を営むにあたってなにか弱点となつて

いるかを発見することが障害を持つ子供への支援・療育にとつて必要なことだということをとでも分かりやすく説明していただきました。知的障害と精神遅滞は同じ意味のように誤解されていることが多いためですが、じつは同義語ではなく、知的に遅れがあっても社会生活に適應している人は精神遅滞とは言えないのです。知的障害によって社会的な生活が困難な場合を「精神遅滞」といいます。では知的障害・発達障害があっても社会生活に適應させるにはどうすればいいかという点、それには周囲の理解と適切な支援が不可欠です。本人に合った環境を用意して、自尊心をきずつつけることのない療育・教育をしなければなりません。

参加者の感想

みんなちがった個性・能力を持つてる。でもみんなそれでいいんだよ。子供たちをみんなと育てていこうよ！
そんなハートフルな想いに満ちあふれた講演会となりました。
Aさん…IQや障害など、いろいろな面で誤解をしてました。本当はどんなものか、そして障害に対して大切なことがとてもよくわかりました。私のおいっこや職場のこども

たちとむきあうなかで、しっかりと環境を考えたいとおもいます。
Bさん…最近いろいろな発達障害の種類を聞くことはあったが、いまいち違いについて理解できていませんでした。今日の話を聞いてよくわかりました。職場に問題行動を起こす子も多いのですが、しかなるべき環境が必要と認識できました。
Cさん…発達障害についてとてもよくわかる講義でした。知識をもったうえで接するのと、知識がないのでは大きく差があり、その子ひとりひとりを理解していくことが大切だと感じました。
Dさん…とても分かりやすく参考になりました。子供の幼稚園にも発達障害らしきお友達がいまいますが、その子に対する知識・理解もついたらと思います。

Eさん…このようなお話を聞く機会をもてたことに感謝。みんなちがっての言葉どおり、その子らしさを發揮していける社会になつたら本当にいいと思います。小さな一歩からでも自分が動くというところが大切だと思うので行動にうつしていきたいと思います。
Fさん…会場の建物に驚かされました。木のおい、温もりも感じられる場所ですね。講義もとてもわかりやすく子供の環境を提供していくことで、スキルを伸ばしていく療育の大切さを学びました。我が家にも発達障害の子がいますが、今後子供のペースにあつた教育をすすめていけるようにしたいと考えております。
Hさん…その子らしく育つように早めの対応が必要というのがよくわかりました。私は保育士ですがそのことをつたえていきたいと思

Iさん…知能検査の内容や、なんのために検査するのかがよくわかりました。我が子も自閉症ですが、これからもよいところをどんどん伸ばしていきたいです。大人になつて働いたり生活するにはどうしていいかわか、青年期成人の具体例の話なども今後聞けたらうれしいです。
Jさん…市の発達センターへ2歳から通つていましたが、そこでは何の説明もなく、的確な指導もありません。小学生になります。いろいろ不安を感じていましたが、今回とても勉強になりました。松村先生ならびに講演会にご参加くださいましたみなさまに御礼もうしあげます。

